

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 黄金

作成日: 令和元年11月5日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化しているので、新しい参加委員を増員し、会議が今以上の充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員として、地域で活動している有識者、知見者、複数の民生委員、薬剤師、小学校の校長、市民センター館長等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、地域貢献に繋がる会議運営に取り組んで行く。	12ヶ月
2	37	災害対策	定期的に年2回訓練を実施しているが、非常災害時における職員の連携体制や、避難訓練の回数を多く実施することで、職員の安心と冷静に行動できる体制に繋がる様に取り組む。	夜勤者1人で9人の利用者を安全な場所に避難させることの困難さを実感し、何度も避難訓練を実施する事で夜勤者の自信に繋げて、利用者が安心して避難できる体制を構築していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。